

18/5/9 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会 (第 10 回)
名古屋市民オンブズマン作成メモ

13:30

蜂谷主幹：進行

西野所長：こんにちは

第 10 回天守閣部会

1959 年竣工 耐震性問題 木造で史実に忠実に復元 方針

先生方にご意見を伺いながら

5/6 現天守閣閉館する

多くの方にご来場頂いた 最後の機会

新しい木造天守を着実に整備するよう

議題 ケーソン健全性

昇降検討状況

工程についてのご説明

ご意見を賜りながら進めていきたい

蜂谷：出席者

写真はこれまで

資料の確認

報告 2 点

瀬瀬：報告

ケーソン健全性調査

調査の目的 設計基礎資料

コア試験体 コア採取した

大天守 4 カ所 小天守 4 カ所

調査実施位置 大天守穴蔵 小天守穴蔵

コア レーダー探査 直径 100 ミリ

調査結果 圧縮強度 37.2-50.0

中性化深さ 0.1 ミリ-26.9 ミリ

無収縮モルタル圧縮強度

鉄筋かぶり厚さ

健全性調査結果報告

今後 ケーソンの健全性の内容 調査を行っている

検証結果を部会に諮る

蜂谷：質問があれば

片岡：中性化 低いものを見たことがない

吟味・検討

なぜこんなに低いのか いいことだが

○：中性化は地中にある 二酸化炭素が触れにくい
進行しにくい
おかしくない
中性化試験現場を見た 単位も間違いしていない

片岡：色つけしたのはあるのか

○：ある 検証結果を示す際しめしたい

片岡：いいこと ほっとした

炭酸ガスの影響 変わってくる

これだけ低いのははじめてみた

○：小天守ピット側

大天守はコンクリート 問題ない

小天守 一部ピットと接する 二酸化炭素と接する

片岡：耐震診断を見たことがある

○：今回はケーソンのみ 過去耐震診断は上部のみ

片岡：わかった

蜂谷：他には

ないようなら昇降について

○：先月 24 日にバリアフリー検討会議を行った
本日ご出席頂いている方にもご参加頂いた

資料 2-2 当日の資料

1 枚目 1-5 方針

5 番目から バリアフリーの検討

内部 4 人乗り、11 人乗り、外部 11 人乗り

方針案

意見を頂いた

市内部で検討を重ねた結果資料 2-6

方針案

方針は 5 月末

現段階での検討状況

蜂谷：質問があれば

よろしいでしょうか

川地：検討中 A 案の方向で方向付けか

西野所長：最終的には 5 月末

市長を含めて検討し、この方向で進めていくのが

川地：現段階で結論を出すのなら A 案はわかるが、

エレベーターを付ける付けないにかかわらず 歩行困難な方

最上階までスムーズに上がる必要があると考える

可能な装置 今でもある 改善すれば十分スムーズに対応できている

平常時だけでなく、非常時 災害時 スムーズに対応できないとだめ

平常時対応できても非常時にスムーズに対応できるか

バリアフリー会議で言った

入場者調査 12 月 16-17 日 土 5200 人あったデータ

その中で車いすの人どれだけ在館されているか 4 人車いすとどまっていた

将来 祭日 2 万人考えているはず

4 倍 16 人車いす 天守閣にとどまっている

いかにスムーズに避難できるか

設置云々にかかわらず避難計画しないといけない

提案 2-2 資料 階段ブルーの線

16 人 階段で避難は厳しい

煙が入らない 加圧してもよい 一時的にとどまれる場所

平常時のエレベーター付ける付けないではなく

いろいろな装置をしっかり検討する

蜂谷：貴重な意見 参考にしたい

古阪：有識者会議 でないこと

京都 とんでもない数 外国人観光客

スーツケース持った人 迷惑している

どう変えるか 2万人を予想している

最後の日 どれくらいの人が天守閣を見に行ったのか

外国人客

新幹線遅れた スーツケース持っている

はしっこすでに置いてある

外国人が来たときどうするか

ハンディキャップ もっと真剣にやらないと

そうかなという面があるが、地元に沿った人がよく見て意見を出さないと

A案B案C案 真剣に考えるグループ

外国人が増える どう考えるか

参考に

京都 ある意味で迷惑 商売人はよい目

蜂谷：貴重な意見 参考にしたい

瀬口：説明を

竹中：前回の指摘事項

ケーソン下調査 努めていく

瀬口：3番 申し入れて

申し入れたのか 自分で努力するのか

竹中：ケーソン基礎内のボーリングについては文化庁と協議している

14：19

瀬口：他には

ボーリング調査の結果が出ないといろいろできない

工程案の説明を

○：マイルストーン

現在の状況 3 石垣詳細調査の着手 平成 30 年 1 月

7 石垣詳細調査完了 平成 31 年 3 月

工程に影響がないものと考えている

瀬口：どうですか

古阪：マイルストーン 技術的な内容が欲しい

プロ マネジメント 誰が書いたか

発注者、設計者、施工者の立場で違う

発注者が強引に決めちゃう

この限りは大きな変化がない

文化庁 出したが返事はどうだったか

国のいろんな問題 言いたいわない

市民の方いらっしゃるのではっきりと

マイルストーン もう少し具体的な天守閣部会 いろんな議論

何が進んでいるのか

もう少し事実に基づいて技術的な内容について出してほしい

言い過ぎている部分もあるが当面それをもってやってほしい

瀬口：プロジェクトの全体責任は名古屋城総合事務所 はっきりしている

今回技術提案交渉方式 竹中工務店プロジェクト提案もあるので、調整が難しい

通常の決め方と違う

今の指摘も含めてマイルストーン 文化庁の許可だろう

議会の承認

文化庁の許可が着実に進むのか

名古屋城総合事務所が手順を踏んで

私たちはプロジェクトマネジメントしていない

資料があると議論しやすい

川地：お二人 同じことになるが

専門の先生 工程表 こういう表現ではなく、何がクリティカル

何が問題になるかチェック

ネットワーク工程でないと、アイテムだけでは

石垣調査完了 平成 30 年 7 月が平成 31 年 3 月

議会承認が逆転している
ネットワーク工程が必要
これだと正直言ってわからない
全く同じこと

瀬口：難しいのではないか

石垣調査完了
現状変更許可より遅れている
工程に影響がないということ マネジメントしている人が言っている
工程案 前回・前々回から出して欲しい
次回も出して頂く

古阪：基本協定 発注者がなにをするか

何百億実行されている
いろんな作業が山積み
発注者に不利になっているかもしれない
受注者側が困っているかもしれない 見通せるように
うまく平準化して仕事すればよいが、
発注者がやればよいが
施工者側が言えば具体的なものがある
今回 今月末研究所に行く 重要なマイルストーン
建設する 技術的なマイルストーンには全くなっていない
私たちが議論していることが効果的なのか見えない
やられているのであればここに出ていない

瀬口：わかりましたでしょうか、蜂谷さん

本当にわかった？
指摘あるように、天守閣部会の作業工程がない
書いて頂いた方が、「ここで議論することはこれである」
部会としては必要
議会の承認はわからない

古阪：そういうこと

瀬口：他にはないか

なければ議題は2つ

本日の議題は終了

蜂谷：ありがとうございます。

進めていきたい

14：32